

平成30年7月豪雨で行った、
復旧活動の記録。

急
げ
！
復
旧
を。

決壊した堤防

24時間体制で 2週間後に 機能復旧

二次被害に備え
早期に
堤防緊急復旧完了

復旧工事が進む小田川堤防(岡山県倉敷市真備町)
平成30年7月15日撮影



24時間体制で進む復旧工事

記憶

～平成30年7月豪雨と復旧への記憶～

駐車を迂回路に 大動脈の 通行止めを 早期解消

■被災直後(平成30年7月9日撮影)



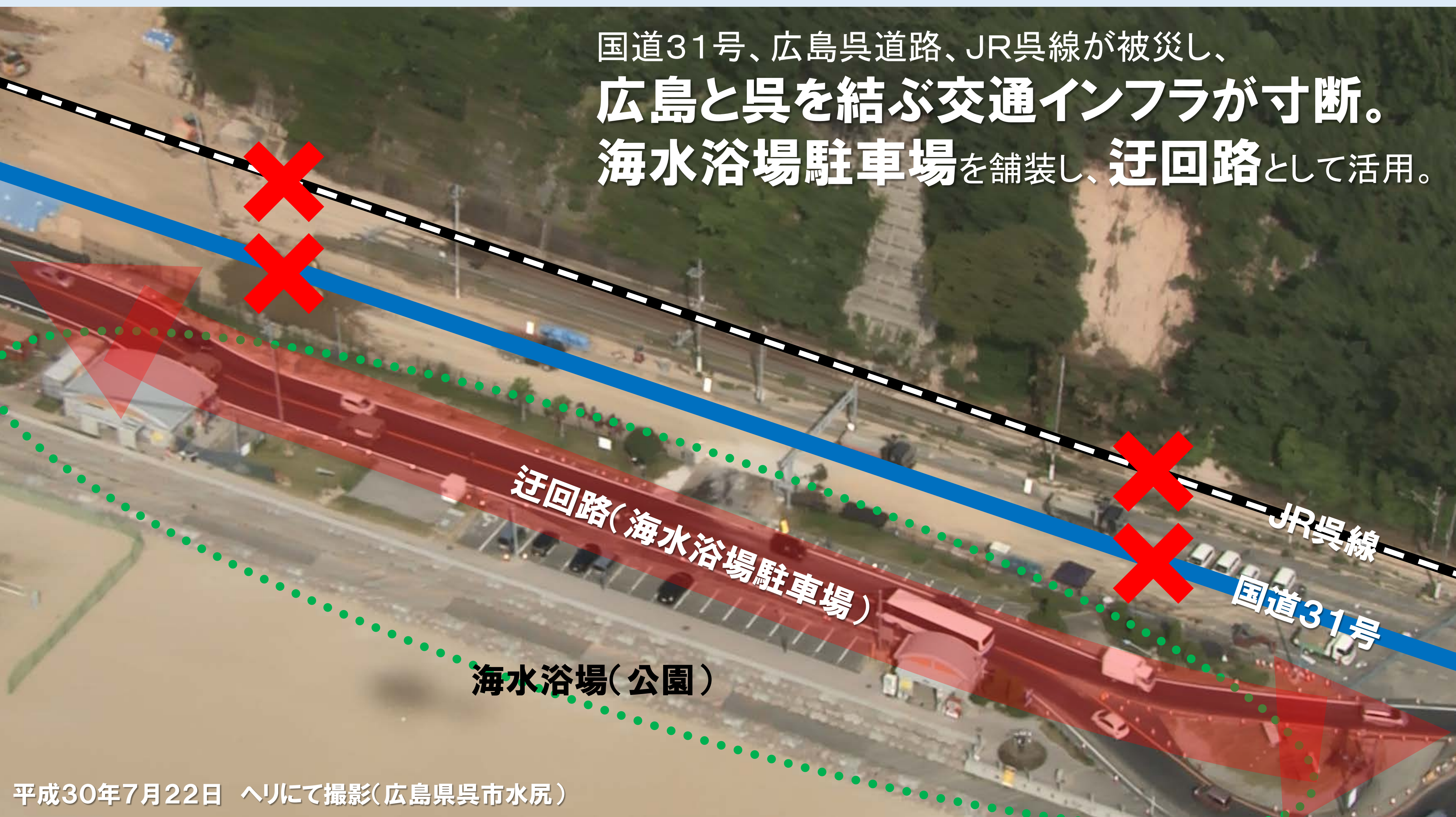
■迂回路整備後(平成30年7月12日撮影)



7月6日
22:00
国道31号を
通行止め

わずか**5**日間
迂回路整備

7月11日
23:00
通行止め
解除



記憶

～平成30年7月豪雨と復旧への記憶～

海上交通を阻む浮遊ゴミ

海洋環境整備船による回収で

航路の安全を確保

平成30年7月豪雨は陸から広島湾や瀬戸内海に大量の流木やゴミをもたらした。

船舶が海を安全に航行できるよう、平成30年7月9日から中国地方整備局、近畿地方整備局、九州地方整備局が所有する海洋環境整備船5隻を出動させ海面に浮かぶ流木、浮遊ゴミを回収。

約1,700m³の回収を実施。この回収量は、平成29年度1年間に回収した量とほぼ同量。



航路の安全を確保し緊急物資を輸送するため

